


心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	東金市立丘山小学校	
ア 全校児童生徒数	65名 (令和4年5月1日現在)	
イ 実践対象 (学年・人数など)	<p>①第7回読売手作り新聞コンクール応募(6学年6名)</p> <p>②パラスポーツ型授業「あすチャレ! スクール」開催(3学年16名・4学年12名・5学年11名・6学年6名)</p> <p>③認知症サポーター養成講座(6学年6名)</p> <p>④ボッチャ体験授業Ⅰ(6学年・6名)</p> <p>⑤高齢者疑似体験(5学年・11名)</p> <p>⑥ボッチャ体験授業Ⅱ～公開授業(全校68名)</p>	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	<p>①7月=第7回読売手作り新聞コンクール (主催=千葉県連合読売会 後援=千葉県教育委員会・読売新聞東京本社) パラスポーツについて調べて分かったこと、考えたことを記事にまとめ、オリジナルの新聞を作成した。</p> <p>②10月=パラスポーツ型授業「あすチャレ! スクール」 (主催=日本財団パラスポーツサポートセンター) 車いすバスケットボールの選手を講師として招聘し、パラスポーツ体験型授業を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③11月=認知症サポーター養成講座 東金市高齢者支援課の方を講師として招聘し、6年生が認知症サポーター養成講座を受講。認知症サポーターキャラバン事業におけるキッズサポーターによる作品(文芸作品等)に応募。</p> <p>④11月=パラスポーツに親しもう! ボッチャ体験授業Ⅰ 千葉県立東金特別支援学校の教職員を講師として招聘し、6年生がボッチャを体験。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

	<p>⑤12月＝高齢者疑似体験</p> <p>東金市福祉協議会の方を講師として招聘し、5年生が高齢者疑似体験を実施。</p>  <p>⑥2月＝パラスポーツに親しもう！ ボッチャ体験授業Ⅱ～公開授業</p> <p>6年生がリーダーとなり、全校縦割り活動のボッチャ体験を実施。この活動は、日本パラリンピック委員会『I' mPOSSIBLE』依頼の公開授業として実施。</p>
<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<p>①学校だよりに授業の様子の掲載 (全校児童の家庭へ配付)</p> <p>②学校だよりをホームページに掲載</p> <p>③学校だよりの地区回覧</p> <p>④有識者等による学校運営懇談会にて、本事業の概要を説明</p>
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<p>①第7回読売手作り新聞コンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツを調べることで、自分も体験してみたいという思いが強まった。また、障害のある方への理解が深まった。 <p>②パラスポーツ型授業「あすチャレ！ スクール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある、なしに関係なく一緒に楽しめることが分かったという感想をもつことができた。 ・自分の夢に向かって努力し、挑戦する気持ちを大切にしたいという気持ちをもつことができた。 <p>③認知症サポーター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症は家族や身近な人など、誰もがなりうるものであり、病気への理解が大切であることを学ぶことができた。 <p>④ボッチャ体験授業Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下学年への指導を念頭に、ボッチャのルールをしっかりと学び、また大いにボッチャを楽しむことができた。 <p>⑤高齢者疑似体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑似体験を行うことで、高齢の方に対して、何か自分にできることがないだろうかという思いをもつことができた。 <p>⑥(2月に実施予定)＝ボッチャ体験授業Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童で、ボッチャを楽しむ。全校縦割り活動として実施し、心温まる活動をめざす。
<p>カ 次年度の予定 (課題や改善策など)</p>	<p>○今年度、児童が体験したことをベースに、保護者や地域の方々にも紹介し、パラスポーツの理解と普及に努めていきたい。</p> <p>○インクルーシブ教育の構築に向け、点字や手話などの体験プログラムを、発達段階に応じて取り入れ、社会福祉活動への関心を高めていきたい。</p> <p>○パラスポーツの多くの種目が、特別な用具や器具を使用するため、継続した取組を行うことが難しい。地域の特別支援学校等との連携を深めていきたい。</p>
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<p>①手作り新聞コンクール作品その1</p> <p>②手作り新聞コンクール作品その2</p> <p>③学校だより (全家庭に10月31日発行)</p>